

多面的な金融法人・機関投資家とのお取引

当行は、長年にわたる金融債の販売を通じ、国内の多数の金融法人・機関投資家の皆様との強いネットワークを持ち、お取引先の高度化する資金運用ニーズに対し、グループを挙げて体制を整え、多面的な金融サービスの提供に努めております。

プロフェッショナルな 資金運用ニーズにお応えする

当行が発行しております5年の利付金融債(い号興業債券(募集債))は国内の代表的な中期債として市場より高い評価を受けております。当行は金融債の販売を通じ、地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、信用組合、農林系金融機関、生損保等の皆様と幅広いお取引関係を有しております。特に、有力な投資家の皆様の多くとは、コンスタントに金融債の応募を頂いているなど、非常に緊密な関係にあります。このような関係は長期にわたるお取引を通じて築かれたものであり、事業法人・公共法人の皆様とのお取引関係とともに、当行の大きな財産であると考えております。

当行ではこのような金融法人、機関投資家の皆様のプロフェッショナルかつ多様な資金運用のニーズにお応えするべく銀行本体はもとより興銀証券(株)をはじめグループ各社でも体制を整え、多面的な業務展開を図って参りました。

例えば、短期金融商品であるCP、資産担保CP(ABCP)等をはじめとした多様な運用商品のご紹介、リスク管理の側面からの高度なデリバティブ取引、資産の有効活用の観点から有価証券運用信託、運用事務代行としてのカストディーサービス、更に年金部門では投資顧問の受託に至るまで、グループを挙げた幅広い金融サービスをご提供しております。

当行グループでは、今後実施される各種規制緩和を展望し、更に一層、高度な金融サービスをご提供できるよう、グループ各社それぞれが総力を挙げて取り組んで参ります。

金融業のパートナーとして 多面的な分野での協力関係

金融法人、機関投資家の皆様との関係は、資産運用の分野に止まるものではなく、同じ金融業のパートナーとして各分野で様々な協力関係を築き上げております。

その典型的な例としては、興銀フィナンシャルテクノロジー(株)を中心とした当行グループとNTTデータ通信(株)との共同プロジェクトで行っている「信用リスク計量化技術」の研究開発が挙げられます。この共同プロジェクトにより開発された信用リスク管理システムは、金融機関のリスク管理における重要なインフラとなることが予想され、既に地方銀行58行がその導入を決定しております。

